

学校名 日置市立鶴丸小学校

項 目	活動内容等
1 推薦機関が受賞候補校等を推薦する理由	<p>当校は、創立154年目と歴史がある学校で、市来鶴丸城跡地で行う「落ち葉拾い」は、数十年前から続く伝統ある活動である。この活動は、祖父母世代、保護者世代と現役世代に受け継がれ、当校の特色ある活動である。また、「朝のボランティア活動」での清掃活動や、総合的な学習の時間を使った江口浜での環境学習「ビーチクリーン作戦」等の取り組みが充実していることから推薦します。</p>
2 受賞候補校等の活動状況等 (1) 活動の動機・頻度 ① 活動を始めた動機及び開始年月	1 動機 「落ち葉拾い」(活動開始年月不詳) 集めた落ち葉を腐葉土にし、学校の花壇を肥料として活用するため 「朝のボランティア活動」(令和4年3月) 身近な環境をきれいにすることで、自分たちの生活環境よくする活動を自主的に取組ませるため 「ビーチクリーン作戦」(令和6年7月) 漂着ゴミへの関心から地球規模の環境問題に関心を高めさせるため
② 活動の愛称名があれば記入して下さい	2 活動の愛称名 「ひおき学」
③ 月間又は年間活動回数	3 活動回数 「落ち葉拾い」は年1回(2月) 「朝のボランティア活動」(年間) 「ビーチクリーン作戦」年1回(7月)

項 目	活動内容等
④ 活動のエリア	「落ち葉拾い」は、市来鶴丸城跡（山）全体 「朝のボランティア活動」は、校舎内・校庭 「ビーチクリーン作戦」は、江口浜海浜公園
⑤ 活動1回当たりの平均参加者数	「落ち葉拾い」：全校児童160人 教職員17人 「朝のボランティア活動」：児童100人程度 「ビーチクリーン作戦」：6年22人 職員2人 保護者2人，地域関係者等3人
⑥ 活動1回当たりの平均時間	「落ち葉拾い」：1年生から3年生は45分 4年生から6年生は90分 「朝のボランティア活動」：15分 「ビーチクリーン作戦」：100分
⑦ 収集物の処理	「落ち葉拾い」：堆肥として利用 「ビーチクリーン作戦」：業者による回収
(2) 活動の独創性 活動の特徴	「ビーチクリーン作戦」は、地元の環境活動家と協力して、6年児童が海岸清掃を行った。集めた後、鹿児島大学の教授から、漂着ゴミがどこの国から流れてきたのか講話をしてもらい、海洋ゴミが世界的な課題であることを学ぶことができた。
(3) 地域への貢献度 ① 地域の環境美化への貢献	「ビーチクリーン作戦」は、江口浜の環境美化へと意識の向上につながった。「落ち葉拾い」は、市来鶴丸城の散策道がきれいになったことに加え、落ち葉で作った腐葉土が学校を彩る花壇の腐葉土となった。
② 地域住民との協力活動	「ビーチクリーン作戦」では、地域の環境活動家・保護者の方も一緒に参加して、ゴミ拾いやゴミの分別活動を行った。
③ 児童・生徒の活動に対する地域住民の反応	「ビーチクリーン作戦」では、子どもたちが汗をかきながら一生懸命ゴミ拾いをしてくれました。自然の豊かさを知ることができたし、環境保全の必要性も学ぶことができたと思う。この活動が、次年度以降も継続して取り組んでくれることを期待しています。

項 目	活動内容等
(4) 環境教育との関連 ① 環境教育と活動との結びつき	環境に対する体験活動を通して、自分を取り巻く環境を、自己のできる範囲内で保全・改善に努め、進んで良い環境をつくらうとする態度の育成に繋がっている。
② 活動開始後の児童・生徒の美化意識の変化	自分の身の回りをきれいにしようとする意識が高まり、進んでゴミを拾ったり整理整頓を心がけたりしている。また、身近なことからニュースなどで見聞きする環境問題と関連付けながら考える児童も増えている。
③ 当該活動以外の環境教育実践活動	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化活動 ・水と生活について、4年生が総合的な学習の時間で学びを深めている。 ・日置市の市民課主催で行われる「吹上浜クリーン作戦」への児童・保護者の参加
(5) 当該活動で他の表彰を受けたことがありますか (受賞年月日と表彰機関名)	なし
(6) 校内外活動のための時間の作り方	<ul style="list-style-type: none"> ・「落ち葉拾い」：総合的な学習の時間、創意 ・「朝のボランティア活動」：始業前 ・「ビーチクリーン作戦」：総合的な学習の時間
3 その他特記事項	全校朝会で、校長が児童に「地域の自然の豊かさ」・「地域の方の優しさ」について、講話を行った。

活動の様子(日置市立鶴丸小学校)

〈落ち葉拾い〉



〈朝のボランティア活動〉



〈ビーチクリーン作戦〉





ごみ調査・データカード International Coastal Cleanup (ICC) Data Card

A面

※回収対象はすべてのごみですが、調査対象は以下の45品目です。
 ※各品目の個数をすべて数え、口内に合計数を数字で記入してください。記入例：タバコの吸殻・フィルター 正正一
 ※この調査品目は、世界共通の「国際海岸クリーンアップ(ICC)」調査品目に、日本で問題となっている品目(斜体)を加えたものです。
 ※データカードの改編等は行わないでください。1会場で複数のデータカードを使った場合はキャプテンが1枚に集約してご報告ください。

▼破片/かけら類(直径2.5cm以上のもの)		合計
硬質プラスチック破片		39
プラスチックシートや袋の破片		33
発泡スチロール破片		16
ガラスや陶器の破片		1



▼陸上活動で主に発生する品目		合計	合計		
タバコ	タバコの吸殻・フィルター	0	生活	ふた(プラスチック)	8
				その他プラスチックボトル	36
	タバコのパッケージ・包装	0		生活雑貨(歯ブラシ、文具等) T	19
	使い捨てライター	3		おもちゃ(ボール、フィギュア等)	5
飲料	飲料用プラスチックボトル(ペットボトル)	44		風船	0
	飲料ガラスびん	8		花火	1
	飲料缶	0	大型	家電製品	0
	飲料用ボトルキャップ(プラスチック)			タイヤ	0
		27	物流	荷造り用ストラップバンド	0
	飲料用ボトルキャップ(金属)	0		プラスチック・発泡スチロール梱包材	17
食品	6パックホルダー	0	建築	建築資材(柱、釘、トタン板等)	0
	フォーク・ナイフ・スプーン	1	医療	注射器	0
	カップ・皿(紙)	0	▼海・河川・湖沼活動で主に発生する品目(水産・釣り関係など)		
	カップ・皿(プラスチック)	1	釣り	釣り糸	0
	カップ・皿(発泡スチロール)	0		ルアー(エギ、ワーム)	0
	ストロー・マドラー	2	水産	ロープ・ひも	18
	食品の包装・袋	3		漁網	0
	食品容器(プラスチック)	20		発泡スチロール製フロート	0
	食品容器(発泡スチロール)	2		プラスチック製フロート・ブイ F	17
生活	レジ袋	0		かご漁具	4
	紙袋	0		カキ養殖用パイプ(長さ10-20cm)	0
	その他プラスチック袋	1		カキ養殖用まめ管(長さ1.5cm)	0

▼次の項目に当てはまるものがあれば記入してください。
 A. 上記以外で数量が多いもの(→①品目、②個数)
 B. ごみによる動物への被害・原因不明は対象外(→①動物名、②動物の生死、③原因のごみ、④状態)
 C. 海外で使用されていたもの(→①国名、②品目、③個数)

カキょう 2

計 326

▼感想・意見・特記事項等を記入してください。

調査会場 キャブテンは、以下もれなく記入してください。★印は重要事項です。□には、✓を入れてください。 B面

・グループ名：日置市立鶴丸小学校6年

・調査年月日：2024年7月10日10時00分～11時00分 実質20分 天候晴

・場所の名称/ふりがな：江口浜海浜公園 / えごうはまかいんこうえん

・実施所在地：鹿児島 都道府県 日置 市区町村 東市来町伊作田74-25-12-899

・参加人数：12歳未満 20人 12歳以上 6人 (合計 26人)

★集めたごみの量：約 44 kg または 19 袋 (袋サイズ：□中袋(30L) 大袋(45L) □その他 _____ L)

・清掃した範囲：距離・約 500 m 奥行・約 10 m

[★そのうち調査を行なった場所 全域 □部分 (距離・約 _____ m 奥行・約 _____ m)]

・調査場所の区分： 海岸 □河岸 □湖沿岸 □水中 □水辺以外

・調査場所の海域(川、湖等は流れ込む海)：□日本海 □太平洋 □瀬戸内海 東シナ海 □オホーツク海 □なし

▼品目解説

